

平成13年9月25日

各 位

会 社 名 石原産業株式会社
コード番号 4028
問 合 せ 先 専務取締役
大 平 政 司
TEL (06) 6444 - 1451

農薬事業自主推進体制の再構築

石原産業株式会社（代表取締役社長 溝井正彦）は、研究開発、商品化、登録および生産にリソースを集中し、研究開発型重点指向のビジネスを展開させながら自社の化合物、新規技術をマーケットに継続的に提供することを方針として農薬事業を展開している。

一方、世界の農薬業界で最近生じている大型再編、巨大アグリ事業会社によるマーケット寡占化の影響は、販売のみならず市場情報へのアクセス機会にまで及んでいる。世界の主要市場で市場情報を自ら把握し研究開発にフィードバックすることは研究開発指向型の会社にとって生命線である。

石原産業は、中核事業としての農薬事業の業容を21世紀の最初の10年間に600億円以上の売上に拡大させ、世界のマーケットの第2グループのトップクラスになることを目標としている。そのためには、既存提携先との良好な関係を維持しつつ、自社製品について自らの意思が反映できる体制の整備が急務となっている。

石原産業は世界の主要なマーケットで、自社組織を構築したり、他社とJV会社を設立したり、あるいは現地農薬会社と提携、市場および最終顧客（農家、生産者）に密接した拠点として運営、活用することで自社製品の自主推進体制を再構築しようとしている。

石原産業は、このたび、その第一弾としてベルギーの Belchim Crop Protection ベルシム・クロップ・プロテクション（以下ベルシム社）の出

資比率の引き上げと同社への役員派遣を決定した。ベルシムは、ベネルクス（ベルギー、オランダ、ルクセンブルク）の有力な農薬ディストリビューターである。同社の売上は、2001年の見込み25百万ユーロ（約27億円）から2003年には64百万ユーロ（約70億円）に増加することが期待されている。

石原産業は同時にオーストリアの農薬ディストリビューター、セラノヴァ Ceranova Handles GmbH（以下セラノヴァ社）への出資および役員派遣も決定した。セラノヴァは、オーストリアに加えルーマニア、ブルガリアで農薬および肥料を販売している。同社の2001年売上は、約1.85百万ユーロ（約2億円）から2003年には9百万ユーロ（約10億円）に伸張することが期待されている。

石原産業は同社のトウモロコシ用除草剤ニコスルフロンのベネルクスおよびオーストリアでのディストリビューターとして、ベルシムおよびセラノヴァを各々起用している。

石原産業は、欧州の農薬事業を統轄するISK バイオサイエンス・ヨーロッパ S.A.（ベルギー ブラッセル市）に欧州での開発、登録、生産および販売の機能を担わせながら、西欧でのベルシムおよび東欧でのセラノヴァ社との関係強化により欧州での自社剤の販売方針の浸透、ならびに市場情報収集の機能強化を企図している。

石原産業は欧州に引き続き、ブラジル、中国、アジアでの自主推進体制の確立、構築を企画しており、三井物産との共同ワークで年内に実現する予定である。

以上